

20歳 55歳 春まじぐら



今年の抱負は？
抱負といっても別にありませんが、今やっている仕事を自分なりに

に、一生けんめいやっていきたい
と思っています。
休みのときは？
テレビを見たり、買い物に
出かけたがり、家でのんびり
過ごすことが多いです。たまには、友
だちと映画を見に行ったり
しますが……。

寒いのがきらいなので、
暖かい九州の方へ旅行に行
きたいです。

九州へ行きたいな！

早川 ゆかりさん（立会）

つてみたいですね。
そろそろ年ごろのようですが、
結婚の予定は？
二十二か三歳ぐらいまでには
結婚したいと思っていますが、
相手の方が今のところいません
ので……。
たえず笑顔で話す早川さん
は、町内の飲食店に勤めてい
ます。
ほとんどの料理は、自分で
も作れるようになりました。
と話してくれました。早川
ゆかりさん二十歳、ただ今青春
真っ盛り、すてきな恋人募集
中です。



5 5 横芝中学校 庭球部

昭和五十三年、五十四年と、二
年連続で天皇杯を手中にした若梅
明彦、藪崎達規選手や、
昨年、世界選手権代表
として、団体優勝、個人第三位と
いう成績を納めた井沢みどり選手

らが、横芝中学校出身だというこ
とは、意外と知られていないよう
です。
「やれば勝てる」の精神で
現在、庭球部員は、一、二年生で

三十二人、朝夕の練習に汗を流し
ています。休みは、年末からの数
日間だけという厳しい
練習に「体力や素質に
大差はありませんから、一時間で
も多く練習することが大切」と井
上先生は話しています。
厳しい練習と、卒業生の適切な
指導が実を結び、県下初という関
東大会での男女アベック優勝（二
回）、県大会での男子三連覇など
の輝かしい成績を納め、庭球界へ有
力選手を送り出しています。
「やる気を持って練習すれば必
らず勝てることを、生徒に教えて
います。今年は、関東大会の男女
優勝をねらいます」と話す井上先
生。がんばれ、横中庭球部！



▲ 右肩にわずかな傷があるだけで
ほとんど損がみられず、300年
余り立ち続けている姿とは見え
ない

内、前、内、その他の家系があつ
て、阿弥陀如来像を建てた海保庄
右エ門という人は、前、内、海保家
の先祖にあたる人だという話です。
天正（一五七三）の時代に、千
葉介昌胤の執権職で海保丹波守と
いう武将がおり、その二男で千葉
介に任せ、下総国で城持ちにまで
出世した武将がいましたが、戦国
の世の習い、戦い敗れて上総国に
逃れ、境村で郷士となって土着し、
姓を昌中、屋号を伊右エ門と代々
名乗っていました。そして、周辺
の里人からは「昌中の旦那」と尊
敬されていました。幾星霜を経た
寛文（一六六一）のころ、その
娘が、同じ檀家の名門の出である
海保庄右エ門に嫁いで、一家を創
設しました。これが、前、内、海保
家の先祖だということです。
庄右エ門夫妻が、海保・昌中両
家累代の縁者一同の冥福と、前、
内、海保家の後世子孫の後生安樂、
追善供養のため寛文十年二月に建
てたのが、こと立阿弥陀如来像だ
ということです。阿弥陀は梵語で、
無量寿、無量光明の意味を含むと
言われていますので、無量寺との
縁りの深さが感じられます。
如来像の右手前方にかけては、
海保対馬守、海保三河守、海保信
濃守、海保甲斐守と刻まれた供養
塔などが林立しており、阿弥陀如
来像の由来と、名門海保家の昔を
裏付け、また語っているようです。
阿弥陀如来像建立の背景には、
名門海保一族の菩提寺無量寺を中
心にしての、結束推進の考えがあ
ったのかも知れません。
取材にあたり、前、内、海保家当
主の薫さん、無量寺住職宮治照良
師のご指導ご協力を頂きました。
横芝町文化財審議会委員
小沢春光氏寄稿